

【入試関係】

Q. 入試形態は、一般選抜と総合型どちらに分類されますか？

A. 国際コース選抜入試は、書類選考と面接による選抜ですので、総合型に分類されます。

Q. 2年生からグローバルコースに転コースする学生は何人程度いますか？

A. 募集は若干名行っておりますが、2024年4月の転コース生は1名でした。

Q. 入試方法について、国際コース選抜以外の推薦というものは指定校推薦のことでしょうか？

A. 国際コース選抜以外は、指定校推薦と関係校(立教関係の高校)推薦の2種類あります。

Q. 附属高からの入学生はいますか？

A. 毎年数名おります。

Q. 英語は入学時点で具体的にはどの程度の英語資格があると安心できるのでしょうか？

A. 各授業では、IELTS6.0レベルの英語力があることを前提に授業を行っております。

【Gコース生への質問】

Q. 立教に入って良かったことや立教でしかできないと思うものは何かありますか？

A. 在學生は、日本国内で法学を世界共通言語である英語で学べることがグローバルコースの極めて大きな利点であると答えておりました。もう1人の在學生は、グローバルコースのロールプレイを活用した交渉学の授業がとても有用であり、知的好奇心を刺激するものであったと答えておりました。

Q. 大学受験時に特別入試へ向けてどのように対策したのか教えていただきたいです。

A. 日ごろからニュースに関心を持ち、それに対して自分はどうのような意見を持つか、そのような意見を持つのはなぜか、といったことを検討するトレーニングをするとよいと思います。

Q. 入学が決定した後、入学後の授業に向けてどのような英語の勉強をしましたか？

A. 英語で書かれているものをたくさん読むとよいです。読み物はなんでもよいです。小説や新聞記事でも、あるいは、音楽やファッションなど趣味に関する雑誌記事やコラムなどでもよいです。読む時は、英語を勉強するという意識ではなく、書かれている内容を理解することに努めてください。英語を勉強しようとする、単語の意味を知り、単語やフレーズを覚えようとすると思います。これに対して、書かれている内容を理解しようとする、内容が理解できる限り読み進めていくはずで、たとえ途中で少しわからない単語が出てきたとしてもです。そのように、内容を理解するつもりでたくさん読んでください。大事なことは、英語を勉強することではなく、英語で他のことを学ぶ(理解する)ことです。

Q. バイトやサークルについて伺いたいです。

A. 在學生は、授業の準備などで時間的な制約が生じることもあるが、バイトやサークルとも両立できると答えておりました。

Q. 単位を取れるか不安なのですが、留年する生徒は何人程度いますか？他学部と比べて多いのでしょうか？

A. グローバルコース1期生が現在3年生であるため、留年についてのデータはまだありません。もっとも、少人数授業による丁寧な指導を行うため、きちんと準備をした上で授業に出席していれば、おのずと単位は取れると思います。

【その他グローバルコースの説明会・体験授業について】

Q. 何年次に留学する方が多いですか？

A. 2年生、3年生が多いです。

Q. グローバルコースの場合、ほぼ全員が留学されていますか？

A. 全員というような形で、留学を必須にしているわけではありません。留学を希望する学生もいれば、そうではない学生もいます。留学を希望する学生にはきちんとサポートをすることで、学生各人の希望を尊重できるようにしています。

Q. 留学をした生徒は4年で卒業することが可能でしょうか？

A. 在学留学という制度があり、4年で卒業をすることも可能です。

Q. 私自身海外滞在歴がなく日本で英語を学んできたのですが、グローバルコースは帰国子女や留学経験者が多いのかどうかお聞きしたいです。

A. 帰国子女や留学経験者もおりますが、そうではない学生も大勢おります。ぜひ、グローバルコースにチャレンジしてください！

Q. 国際ビジネス法学部内の留学倍率はどれくらいですか？  
また、目指すべき資格試験のスコアはありますか？

A. グローバルコースから留学できる留学協定校には、立教大学のグローバルコース以外の法学部生も応募ができるもの、また、法学部以外の他学部の学生も応募ができるものと二種類あります。これらの留学先の協定校は数が多く、地域や大学によって、人気の度合いは実に様々です。このため、留学倍率を提示することはできません。それぞれの協定校が要求する英語レベルが異なるため、要求する英語レベルが低い協定校は競争率が高くなり、要求する英語レベルが高い協定校は競争率が低くなる傾向があります。また、英語力も審査要件ですので、英語力があればあるほど、競争率の低い大学にも応募ができるようになり、なおかつ、選考に合格する可能性が高くなります。留学に応募をする学生は、IELTS6.5相当以上が多いです(それより低くても応募先はあります)。

Q. 国際ビジネス法学科の中にグローバルコースがあるとのことでしたが、グローバルコースでない国際ビジネス法学科の強みを教えていただきたいです。

A. グローバルコースは、グローバルコースでない国際ビジネス法学科のカリキュラムを参考に作られました。そのため、英語を使うかどうかという違いはありますが、グローバルコースの強みの多くは、グローバルコースでない国際ビジネス法学科の強みでもあります。グローバルコースと同じ内容を、日本語をベースとして学ぶ(英語科目もすべてではありませんが履修可能です)コースが、グローバルコースでない国際ビジネス法学科です。

Q. 説明会の動画を公開される予定はありますか？  
保護者のみで視聴したため、本人にも見せたいと思います。

A. Youtube上に公開いたしますので、ぜひ、ご覧ください。